

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	NPO 法人アイゼン
-----	------------

取組の名称	百合ヶ丘第1・百合ヶ丘第2・新百合ヶ丘・柿生片平・南生田子ども食堂
-------	-----------------------------------

①百合ヶ丘第1(魚魚の海)
※11月で終了



②百合ヶ丘第2(百合丘ルミナス保育園)



実施場所

③新百合ヶ丘(麻生プレップスクール)



③柿生片平
（「結」ケアセンターあさお）



⑤南生田(「結」 ケアセンターいくた)



対象地域

川崎市麻生区

①②百合ヶ丘駅周辺 ②新百合ヶ丘駅周辺 ③柿生駅周辺 ④南生田一丁目

**対象地域の
特色・課題**

◆特色

- ・新興住宅街や高級マンションがあり、共働きの子育て世代が多くいる。
- ・その中に貧困も交じっているが親が他から貧困が分からないように努力している。
- ・他地域より定住した人が多く地元とかかわりの人が少ない。
- ・小田急線が谷沿いにある、その両側が丘になっているような地形で山坂が多く商店・飲食店は駅前に集中している。

◆課題

- ・待機児童、共働き家庭によるこどもが求めるまちのひろば的な居場所が少ない。
- ・共働き家庭への支援が少なく感じている人が多い。
- ・学生が望むボランティア活動の場が少ない。

取組の趣旨・目的

◆互助の関係

子ども・若者が健やかに成長できるよう、地元法人や店舗、地元住民や学生と連携・協働しながら、地域のつながり、互いに助け合い・支えあうことのできるまちづくりをしたい

◆働くパパ・ママ支援

毎日忙しいパパ・ママが月に一度、夜ご飯づくりをお休みして子どもとゆっくりご飯を食べたり、同じ子育て世代のパパ友、ママ友と情報交換をしたり地域の方とお話ししながらゆっくりご飯を食べられる場所を作ること子育てのお手伝いをしたい

◆地域の方の居場所づくり

地域の方が気軽に集まることができる地域の居場所を作ること居心地がいまちにしたい

実施内容・実施スケジュール

【実施内容】
17:00~19:00 の時間で開催。カレーを子ども 100 円大人 250 円で提供。地域の方から頂いた防災食や野菜、お菓子などの寄付品を合わせて配布している。

【実施スケジュール】
毎月、月初め週でチラシを配布。
子ども食堂開催一週間前に食材や備品の準備をする。
カレーの調理は当日に一か所で行い、各会場に運搬する。

参加者の年代	子どもからご高齢の方までの幅広い年代	定員 (1回あたり)	定員は特になし 毎月 150 名程度の方にご利用いただきました
実施頻度	毎月第 3 木曜日	活動日数 (年間)	56 日 (4 会場×12 回、1 会場×8 回) ※百合ヶ丘第 1 が 11 月で終了

スタッフ体制

◆開催場所のスタッフの協力
お手伝いいただける人は 200 名を超えている。
1 回あたりのお手伝いは 40~60 名程度。
会場の保育士さんや介護士、店員さん、地域住民の方などにもご協力いただいている。
運営は主に大学生が行っており、会場に近い地元の方と連携をしながら行っている。
理事は、運営のサポート・コーディネートをして裏方に回っている。

◆チラシを配布
麻生区の保育園・幼稚園・小学校・中学校など 20 ヶ所以上
毎月チラシを配らせていただくことで子ども食堂の認知度も高まり、参加者数も増えているように感じます。

連携する団体・連携の手法

◆WEB Instagram、Facebook、X
Instagram や Facebook、X などの SNS やメールの方でボランティアの応募や寄付などについて多くの問い合わせがある。

◆地域の方からの寄付

地元の農家さんや企業、地域住民の方から収穫物やお米、お菓子などの御寄付をいただく。いただいたものをカレーの材料や子ども食堂を利用してくれた方に配布している。



取組実施により
見込まれた効果

・毎月のチラシ配りの効果で子ども食堂の認知度も高まり、利用者の方が増えた。その中でリピーターの方も増えており、子ども食堂が地域の一つの居場所になっている。

・地元の農家さんや企業、地域住民の方から収穫物やお米、お菓子などいただく寄付の数が増加し、ボランティア数も増加している。地域住民の方と連携・協働することで地域のつながりが増え、地域の中で互いに助け合い・支えあうことのできる関係性を築くきっかけになっている。

・パパ・ママを中心とした利用者から、「毎月開催してくれて助かる」「子どもが楽しそうにできてうれしい」などの声をいただくことができ、働くパパ・ママ支援としての機能を実感できた。